

# 第9回『オリザ賞』実施要領

令和3年5月  
宮城県農業協同組合中央会

## 1. 主 旨

オリザ賞は、平成9年度にJAグループが中心となり、河北新報社創刊100周年記念事業「オリザの環（わ）」の企画に賛同し、3年に一度の取り組みとして、河北新報社及び東北放送の協力を得て創設した。

本県の基幹作目である稲作を通じて、震災からの農業復興を含め、地域農業振興に大きく貢献した取り組みを発掘し、本県農業の将来を担う優良事例として、個別経営体及び団体等に対する表彰を行う。

また、農業の果たす役割や地域の活性化との関連を広く県民に紹介するとともに、農業に対する県民の合意づくりに努め、本県の「稲作と米」の未来を切り拓く取り組みに繋いでいくことを目的とする。

## 2. 『オリザ賞』の選考

「第9回オリザ大賞1点、準大賞の2点（合計3点）」とする。

## 3. 主 催

宮城県農業協同組合中央会

## 4. 共 催

株式会社 河北新報社  
東北放送 株式会社

## 5. 後 援

宮城県  
宮城県生活協同組合連合会

## 6. 応募資格

稲作を主体とした、効率的な農業生産を行うとともに、「みやぎの環境保全米づくり」等により、地域の自然や資源を守り、都市や消費者との交流を通じて、地域の活性化や農業振興に貢献している個人及び団体等。

但し、過去の大賞受賞者は除くものとする。

## 7. 応募方法

応募は、自薦・他薦を問わず、所定の「オリザ賞応募用紙」に必要な事項を記入し、県内各JAを窓口として、宮城県農業協同組合中央会宛に応募するものとする。

## 8. 募集期間

令和3年6月1日（火）～7月30日（金）（2か月間、7月末本会必着）

## 9. 審査関係

具体的な選考・審査にあたっては、別途「選考・審査要領」を設けるものとする。

### (1) 審査日程（予定）

第1次審査（書類審査）及び第2次審査（現地審査）を経て、令和3年10月1日（金）に、結果を発表（河北新報、日本農業新聞紙上等）する。

### (2) 審査会

審査委員は、宮城県、学識経験者、宮城県生活協同組合連合会、(株)河北新報社、東北放送(株)、JA宮城中央会により構成する。

### (3) 審査会幹事会

審査会を円滑に行うため幹事会を設置する。幹事会は、(株)河北新報社、東北放送(株)、JA宮城中央会の3者で構成する。

### (4) 審査基準

選考・審査は、別途定められた審査基準にもとづき、書類審査及び現地調査を行い、最終的な決定を行うものとする。

## 10. 表彰

オリザ大賞1点、準大賞2点の計3点に対し賞状及び副賞を贈呈する。副賞は、大賞を30万円、準大賞を10万円とする。

表彰式は、11月26日（金）開催予定の「第40回JA宮城県大会」時に行う。

## 11. 広報

オリザ大賞等の表彰者（優良事例）については、河北新報・TBC テレビ・日本農業新聞、JA広報紙等を媒体に、より多くの県民等に伝えながら、震災復興を含め、今後の農業・農村・食料に係る情報発信や合意形成の取り組みに役立ていくものとする。

## 12. 事務局

事務局は、宮城県農業協同組合中央会「営農農政部」とする。

### オリザ賞とは

オリザとはラテン語で「稲」の学名。世界24カ国のルポをもとに新しい米づくりの可能性を訴えた河北新報社連載企画「オリザの環（わ）」（創刊100周年記念事業、平成9年度新聞協会賞受賞）の趣旨を生かす目的で、宮城県農業協同組合中央会が平成9年度に創設した宮城県独自の賞である。

宮城県の基幹作物である「米」を通じ、農業の振興に大きく貢献した取り組みを発掘し、農業の果たす役割や地域づくりに向けた活動を、社会一般へ紹介し農業への理解を促進することを目的としている。

# 第9回 オリザ賞選考・審査要領

令和3年5月  
宮城県農業協同組合中央会

## 1. 目 的

この要領は、第9回「オリザ賞」実施要領にもとづき、各賞の選考・審査を行うため、以下の必要な事項を定めるものとする。

## 2. 表 彰 名

選考・審査により、次の表彰区分を設ける。

- (1)「第9回 オリザ大賞 (1点)」
- (2)「第9回 オリザ準大賞 (2点)」

## 3. 応募資格

稲作を主体に効率的な農業生産を行うとともに、環境保全米等により、地域の自然や資源を守り都市や消費者との交流を通じて、地域の活性化や農業振興に貢献している個人及び団体等とする。

但し、過去の大賞受賞者は除くものとする。

## 4. 応募方法

応募は、自薦、他薦を問わないが、県内各JAを窓口として、所定の「オリザ賞応募用紙」に必要な事項を記入し、「宮城県農業協同組合中央会」宛に応募するものとする。

## 5. 募集期間

令和3年6月1日(火)～7月30日(金)の2か月間

## 6. 審査手続き

### (1) 審査日程(予定)

- ①第一次審査(書類審査): 令和3年8月下旬
- ②第二次審査(現地審査): 令和3年9月中旬
- ③結果発表(河北新報、日本農業新聞紙上): 令和3年10月1日(金)

### (2) 審査会委員の構成と委員長の選任

- ①審査会は次の組織・団体代表者等をもって充てる。
  - ・宮城県農政部、・学識経験者、・宮城県生活協同組合連合会、・株式会社河北新報社、・東北放送株式会社、・宮城県農業協同組合中央会
- ②審査会には委員長・副委員長を置き審査委員の互選によって選出する。
- ③審査会の招集は、委員長が行う。
- ④委員長に事故あるときは副委員長が職務を代行する。

### (3) 審査会幹事会

- ①審査会を円滑に行うため幹事会を設置する。
- ②幹事会は（株）河北新報社・東北放送（株）・J A宮城中央会で構成する。
- ③幹事会は、審査委員長の指示により必要な調査、資料収集等を行う。

### (4) 審査基準

- ①審査は、書類審査及び現地調査を実施する。
- ②審査は、次の点に留意し、総合的に判断する。
  - ア．震災からの復興を含め、稲作を主体とした取り組みによって安定的・効率的な農業生産を継続的に行っていること。
  - イ．環境保全米づくり等の環境保全活動や景観の維持・改善活動に取り組んでいること。
  - ウ．都市や消費者との交流を行い、地域の伝統文化や農業生産振興への理解促進に努めていること。
  - エ．消費者ニーズに応えるため、環境・「安全・安心」・地産地消等、特徴ある取り組みを行い農業振興や地域の活性化に貢献していること。
  - オ．農業振興、地域活性化に関して将来性、効果、波及性、目標等が期待されること。
  - カ．農業生産工程管理（GAP）等により、食品安全・環境保全・労働安全の確保に取り組んでいることもしくは予定があること。

## 7. 表彰

厳選なる選考により、次の通り、賞状及び副賞を授与する。

- ①オリザ大賞 1点 賞状 副賞 トロフィーと30万円
  - ②オリザ準大賞(大賞に次ぐ) 2点 賞状 副賞 トロフィーと10万円
- 表彰式は、11月26日（金）開催予定の「第40回J A宮城県大会」において、行うものとする。

## 8. 事務局

J A宮城中央会 営農農政部 TEL 022 - 264 - 8247

第9回オリザ賞  
審査委員・幹事会 名簿

1. 審査委員

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	東北大学大学院	農学研究科教授	伊藤 房雄	審査委員長
2	宮城県農政部	副 部 長	金 須 豊 洋	
3	宮城県生活協同組合連合会	副 会 長 理 事	大 越 健 治	
4	㈱河北新報社	代表取締役社長	一 力 雅 彦	審査副委員長
5	東北放送㈱	常務取締役	氏 家 悟	
6	J A 宮城中央会	常 務 理 事	高 橋 慎	

計6名

2. 幹事

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	㈱河北新報社	取 締 役	今 野 俊 宏	
2	東北放送㈱	常務取締役	氏 家 悟	
3	J A 宮城中央会	常 務 理 事	高 橋 慎	

計3名

3. 事務局

No.	所 属	役 職	氏 名	備考
1	J A 宮城中央会	営農農政部長	工 藤 信	
2	J A 宮城中央会	営農農政部長 食の安全・安心推進担当次長	高 橋 敦	
3	J A 宮城中央会	営農農政部長 食の安全・安心推進担当リーダ	関 村 浩	

計3名

# 第9回オリザ賞 応募用紙(様式)

令和3年 月 日

市町村名		受付J A名	(担当部署 : )	印
------	--	--------	-----------	---

個人名 団体名 組織名		設立年月日 (取組開始時期)	年 月
所在地 (ご連絡先)	〒 — 住所・所在地 : TEL ( — — ) 代表者名 : (生年月日 : 年 月 日生) 構成員数 : 名		

### (確認事項)

1. ご応募いただいた書類・資料は返却いたしません。
2. ご提出いただいた中のお名前とご連絡先等の個人情報については、審査・発表等で使用させていただきますのでご了承ください。
3. 団体・組織等の場合、性格が理解し得る定款・規約・総会資料等を添付してください。
4. 可能な限り、活動内容が明確に分かる写真・資料を添付してください。
5. 実施要領・確認事項等を了承の上で応募することに同意します。

令和3年 月 日

(代表者自署) \_\_\_\_\_

1. 農業経営の目的や理念

--

2. 組織（取り組み）の体制及び構成員（それぞれの主な役割について記入願います）。

--

3. 活動内容（下記の項目の中で該当するものについて、記入願います）。

\* 震災からの復興に取り組む農業生産法人・集落営農組織等も含む（実践中のもの、計画化しているものを記載）

(1) 稲作を主体とした取り組みによる安定的・効率的な農業生産に関すること。

--

(2) 環境保全米づくり等の環境保全活動や景観の維持・改善への取り組みに関すること。

--

(3) 都市や消費者との交流による地域の伝統文化や農業生産振興への理解促進に関すること。

--

(4) 消費者ニーズに対応した環境、「安全・安心」、地産地消等、特徴ある取組みに関する  
こと。

--

(5) 農業振興、地域活性化に関し将来期待される効果、波及性、目標等に関すること。

--

(6) 農業生産工程管理（GAP）等に関すること。（現在の取り組み状況と今後の予定）

--

(7) 特記事項（強調しておきたい特徴点：過去の表彰実績等、特にアピールしたい事項：  
SDGs への取り組み、女性の活躍等）

--

4. 構成員や交流状況及び取扱状況等(該当するものについて記入願います)

年度・区分	参加構成員数	交流先・交流参加者数	取り扱い状況等 (売上高等:単位千円)
平成 30 年度			
令和元年度			
令和 2 年度			
3年後の見通し (令和 6 年頃)			